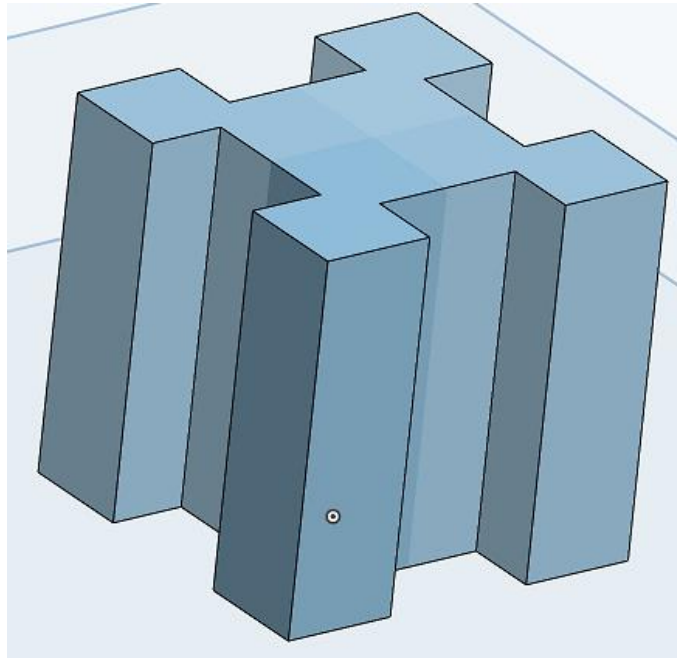


ipad用Onshapeの使い方 ブロックを作ろう 2

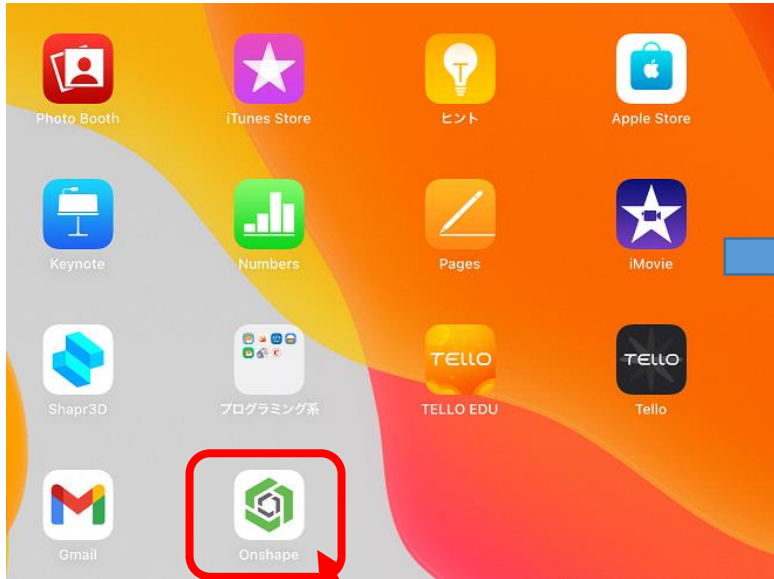


作図作業はすべて
画面を指先でタッ
プすることで行い
ます

旭川高専 kashikashi

2022.4.5

ipad用Onshapeにサインインしましょう



ipadのデスクトップの
Onshapeアイコンをタップ
する

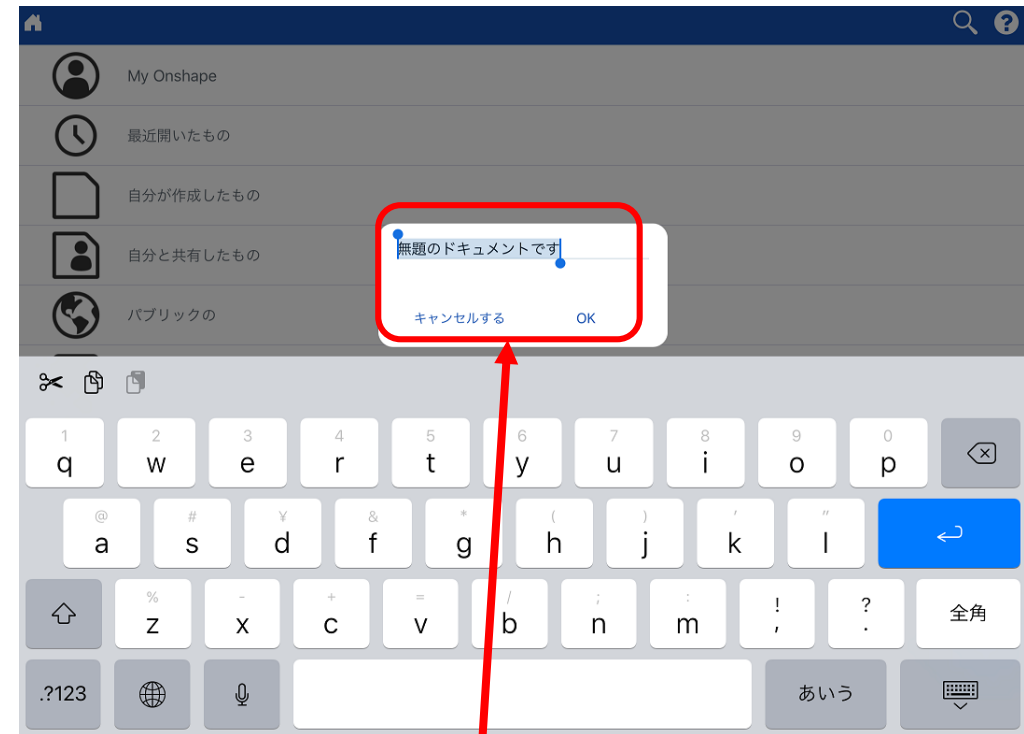
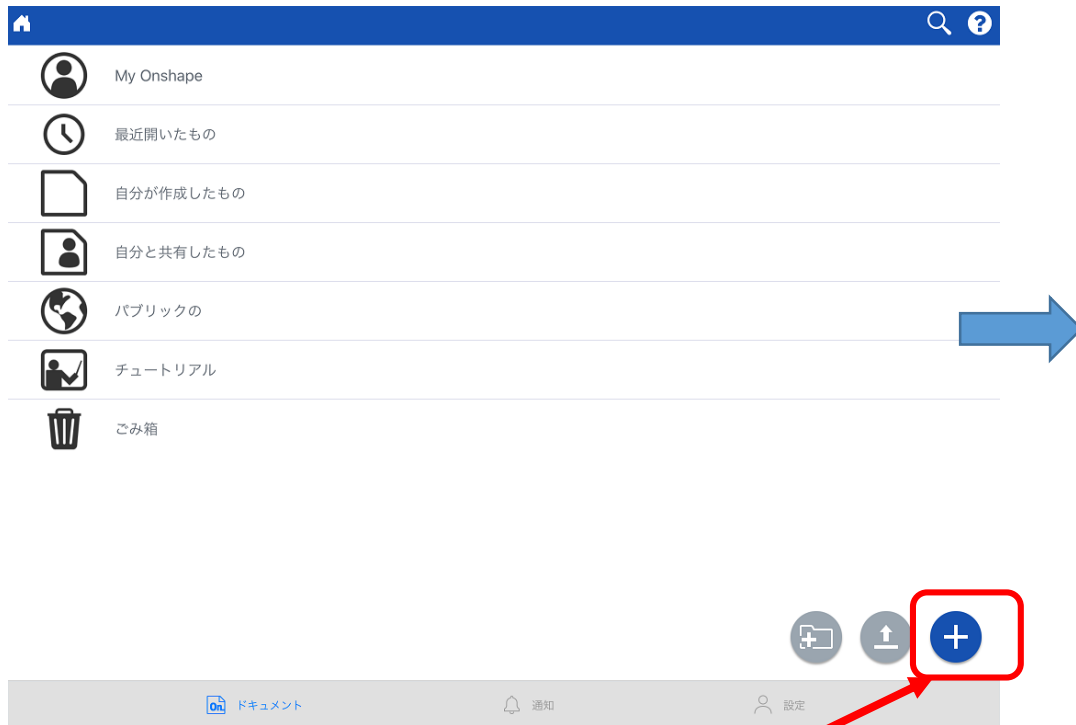


サインイン画面になる
ので登録したメールア
ドレスを入力しサイン
インする



パスワードを入力
しサインインする

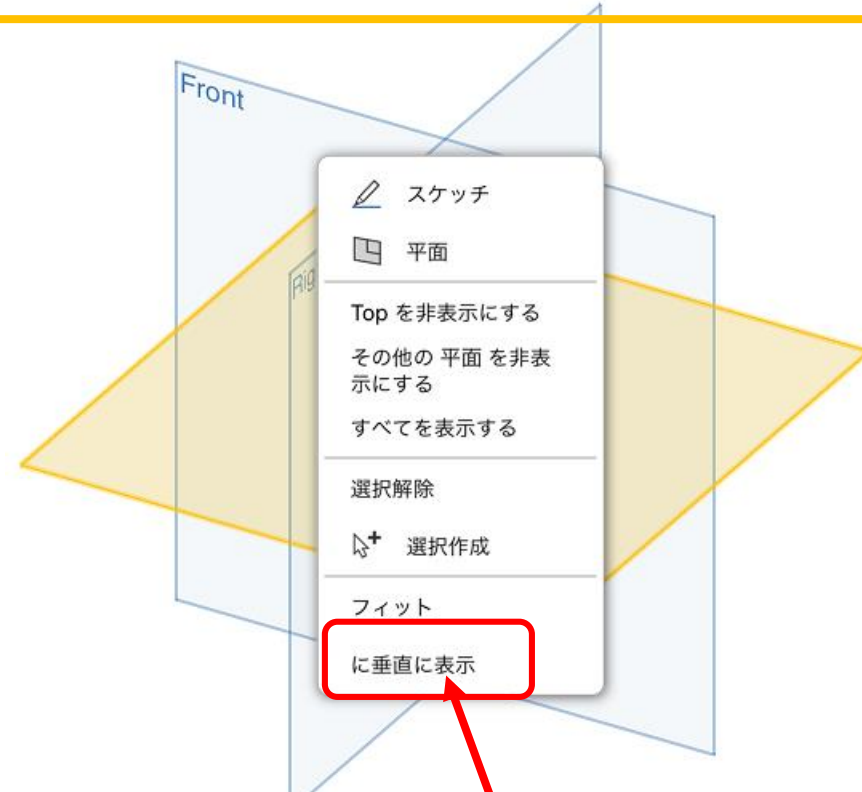
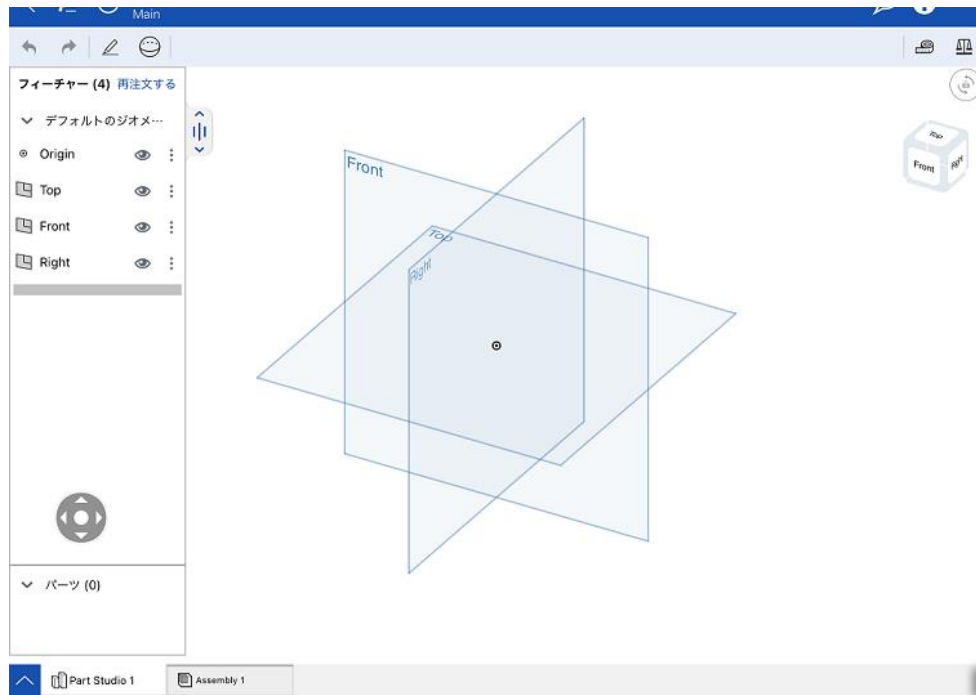
ipad用Onshapeでブロックを作ります 1



- 上の画面になるので [+] を押してドキュメントを新規作成します
- ドキュメントとは作成する3Dモデルを含むファイルのことです
- ドキュメントはクラウド上に保存されます

- ドキュメント名を入力して[OK]を押します
- 例えば[iPad ブロック 2]というドキュメント名にします

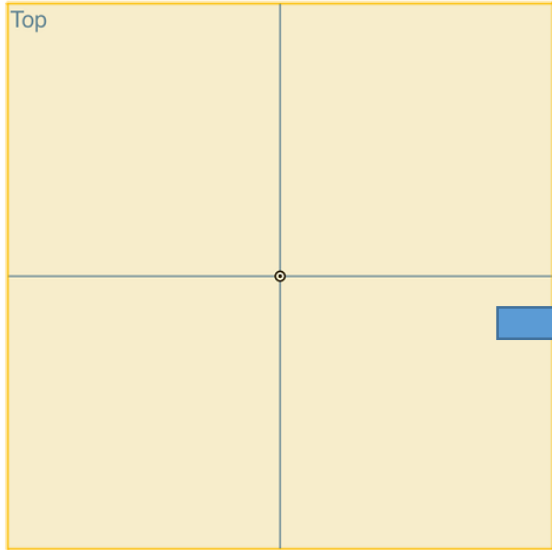
ipad用Onshapeでブロックを作ります 2



- Windows PCと同じワークスペースが現れます
- ipadでの作図作業はすべて画面を指先でタップすることにより行います（マウス、アップルペンはいりません）
- そのため操作方法がマウスを使うwindows PCとは少し異なります

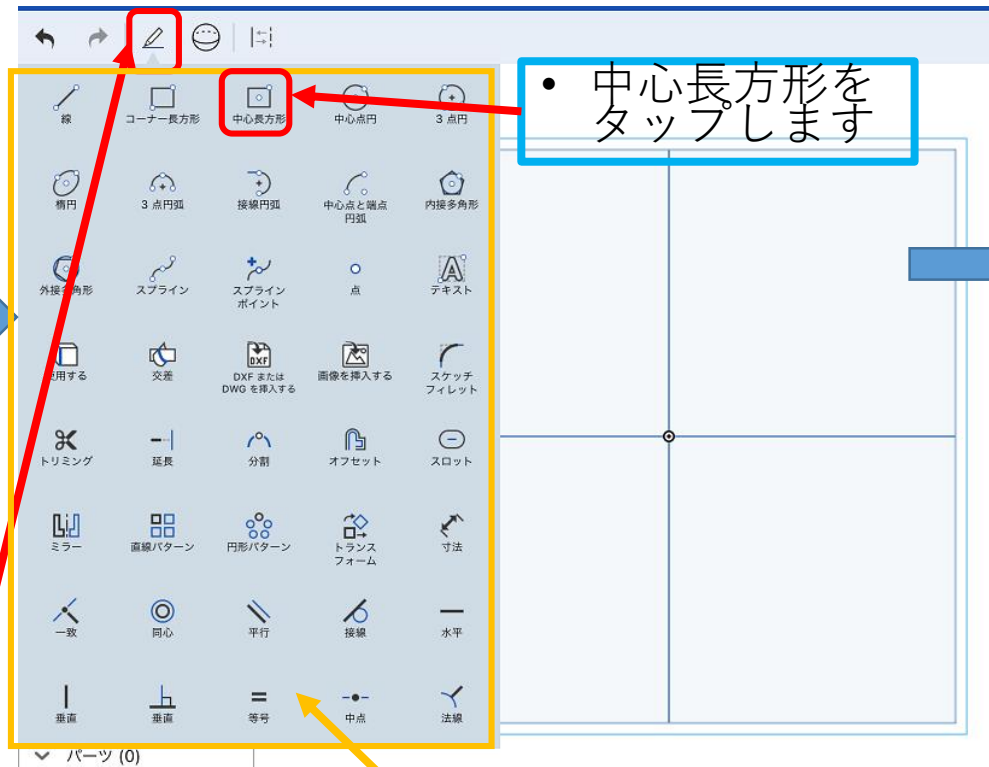
- [Top]。(平面図) で作業するとき、[Top]面を指先でタップして選択します。選択されると面がオレンジ色になります。
- [Top]面を真正面から見たいので、選択した[Top]面を「人差し指と中指で同時にタップ」します
- すると図のウィンドウが現れるので「に垂直に表示」をタップします

ipad用Onshapeでブロックを作ります 3

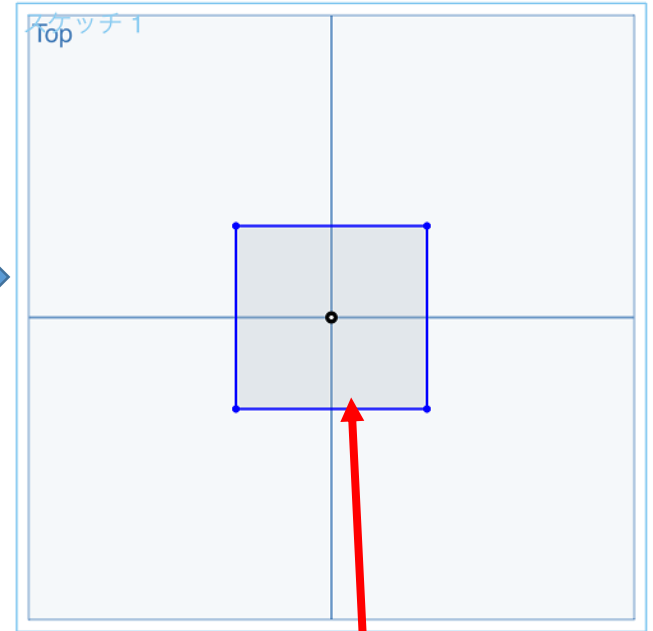


- 上図のように[Top]面が真正面になります
- 作図しやすいですね

• 鉛筆マークをタップします

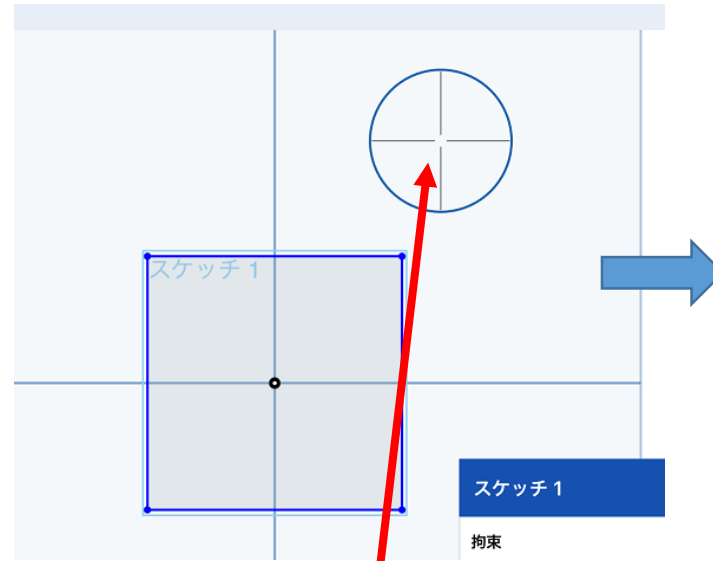
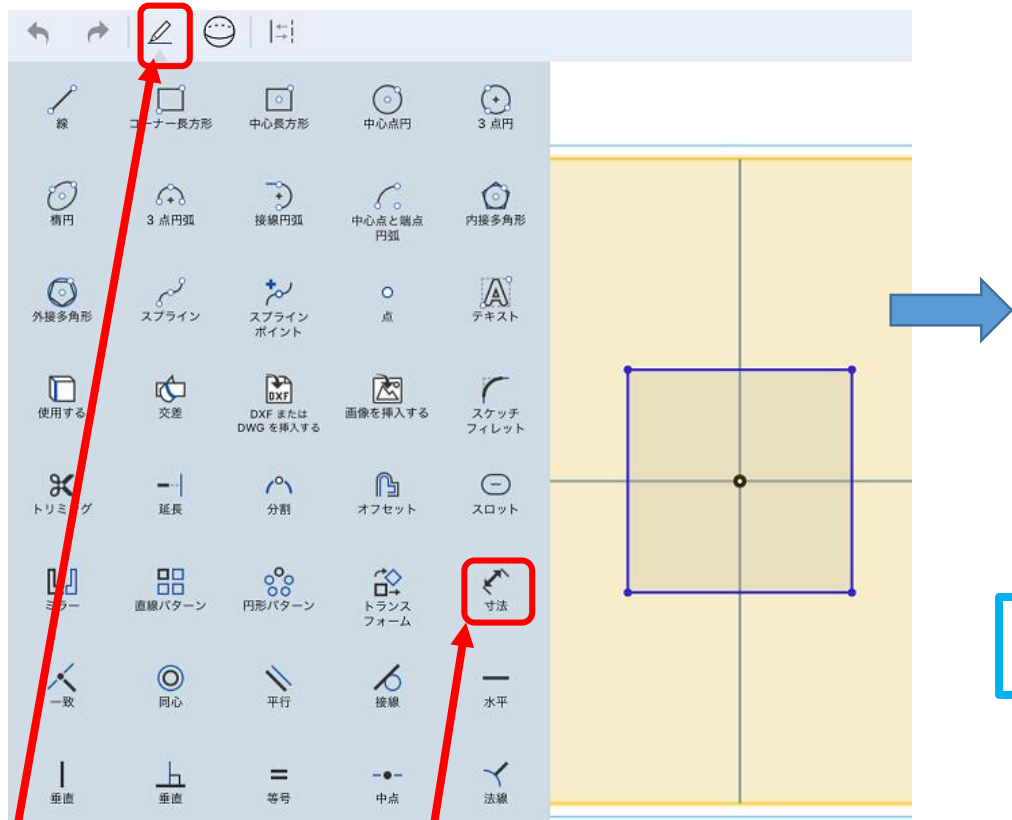


- スケッチツールウィンドウが開きます
- Windows PCですとスケッチツールバーが現れますが、ipadではウィンドウです

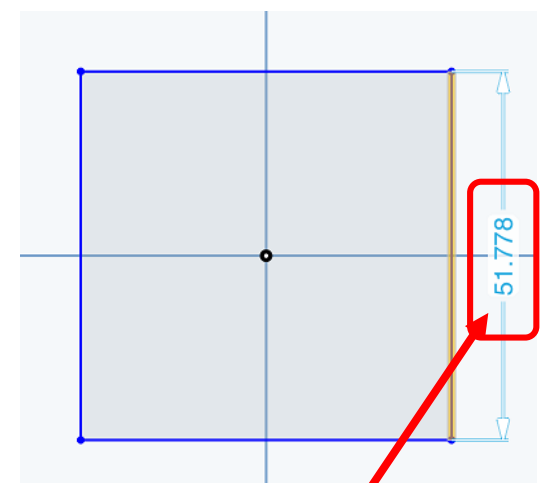


- 画面にタッチ(指を画面から離さないこと)すると長方形の中心点(+マーク)が現れるので、原点まで指を滑らせ中心点を原点に移動します
- 指を画面から離してから、もう一度タップすると長方形が現れるので指を滑らせて適当な大きさの長方形にしてから指を離します

ipad用Onshapeでブロックを作ります 4



• 画面を長押しすると円形ポインタが現れる

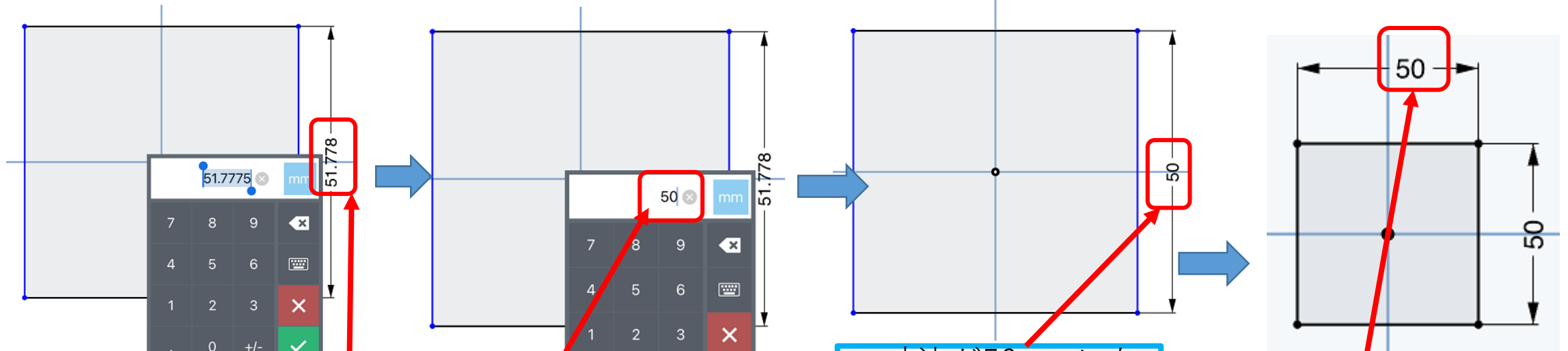


• 円形ポインタを寸法変更したい辺上に移動すると、辺の寸法が現れる

• 鉛筆マークを押します
• スケッチツールウィンドウが開きます
• 寸法を選びます

• 中心長方形を選びます

ipad用Onshapeでブロックを作りましたよ 5



- 寸法をタップする
- 寸法入力用キーボードが現れる

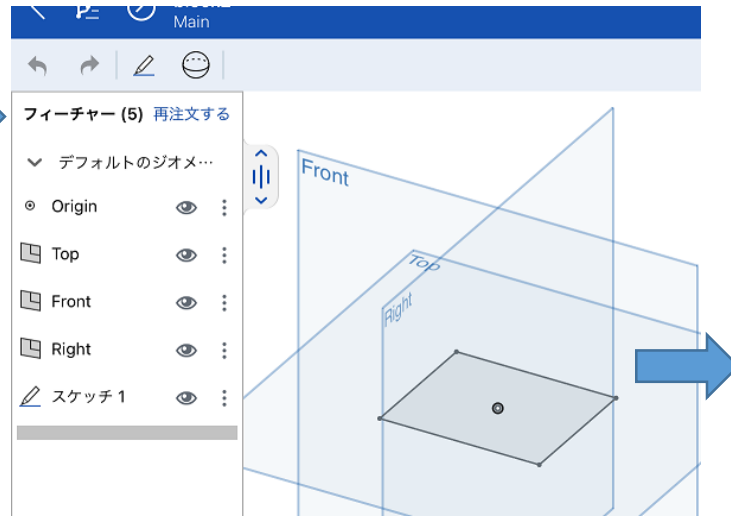
- 50と入力して緑チェックを押す

- 寸法が50mmになる

- 上の辺の寸法も50mmにする

ipad用Onshapeでブロックを作りました 6

- 時々、Onshapeの作業しないでそのまましているとipadがロックされて画面が真っ黒になる
- その時はまたパスコードをいれてロックを解除すると[My Onshape]が現れる
- 作業していたドキュメント[iPad ブロック 2]をタップします

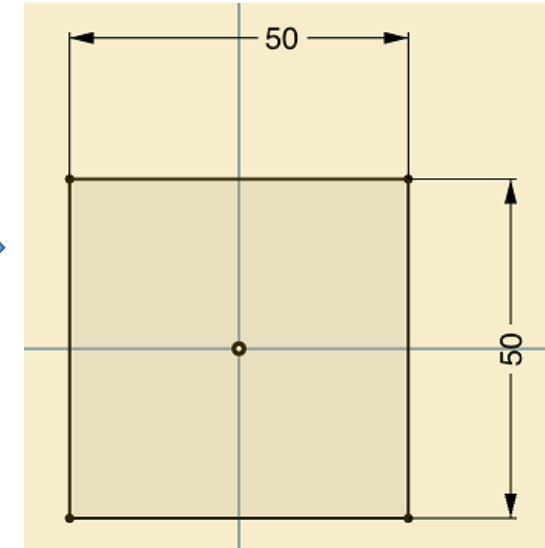
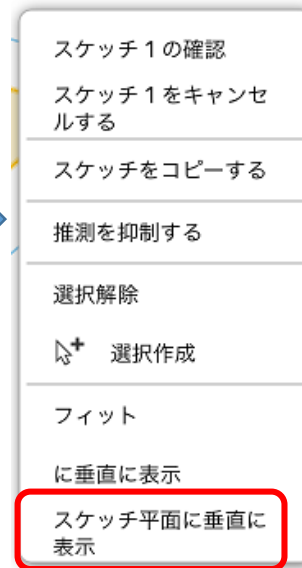
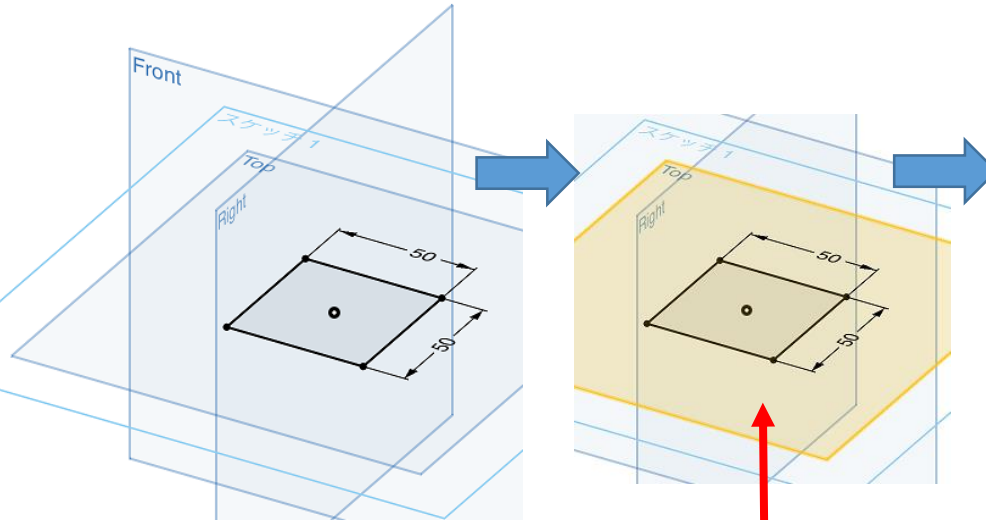
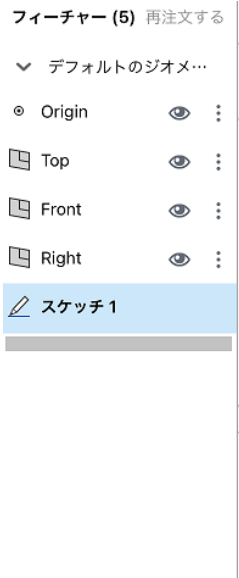


- [iPad ブロック 2]のワークスペースが現れます



- 「スケッチ 1」の右の3つの点をタップする
- 選択ウィンドウが現れるので「編集する」をタップする

ipad用Onshapeでブロックを作りますよ7

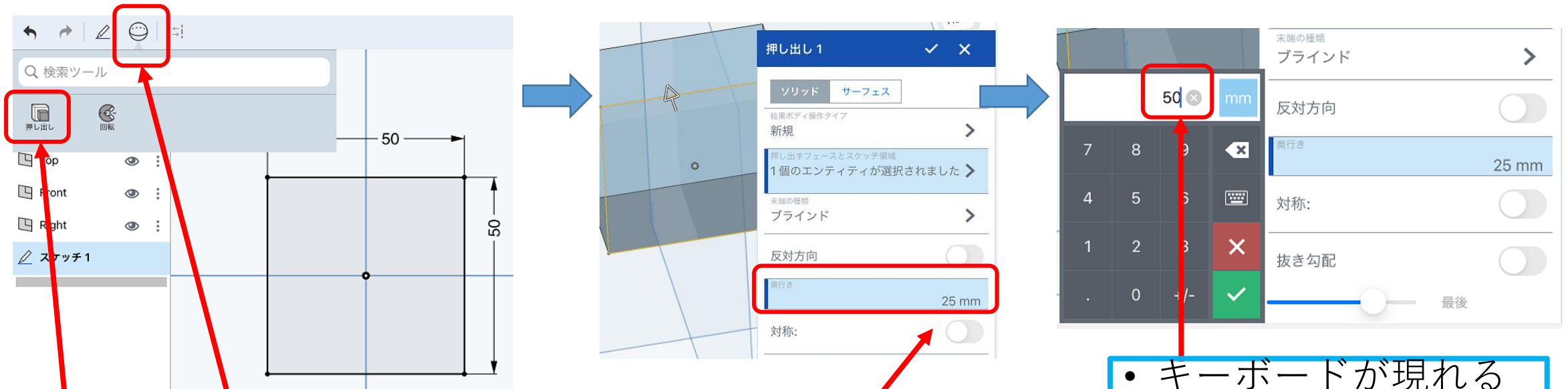


• さきほどの「スケッチ1」を
続けて編集できるようになる

- 描いた正方形をタップすると選択されてオレンジ色になる
- ワークスペース上で中指、人差し指2本で同時にタップする
- ウィンドウが現れるので「スケッチ平面に垂直に表示」を押す

• 50x50の正方形が真正
面に見えて実形になる
ので作業しやすい

ipad用Onshapeでブロックを作りました 8

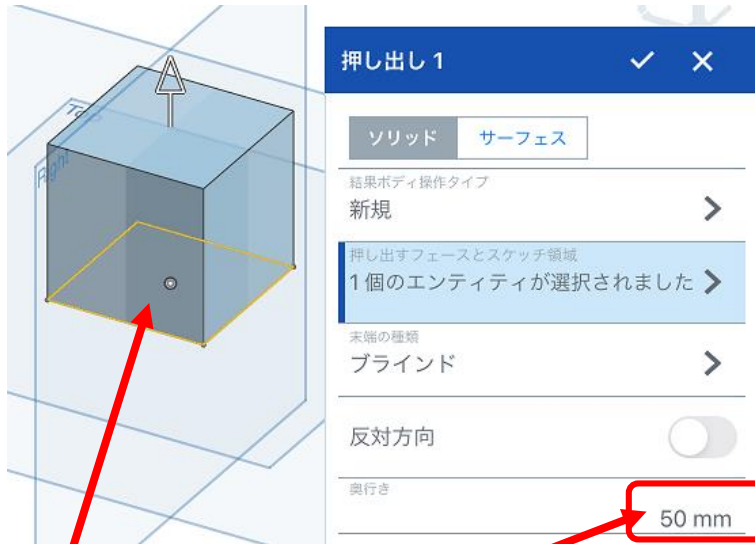


- フィーチャーツールをタップする
- 押し出しをタップする
- 画面にタッチしながら指を動かすとブロックが傾くので押し出しの様子が分かりやすいです

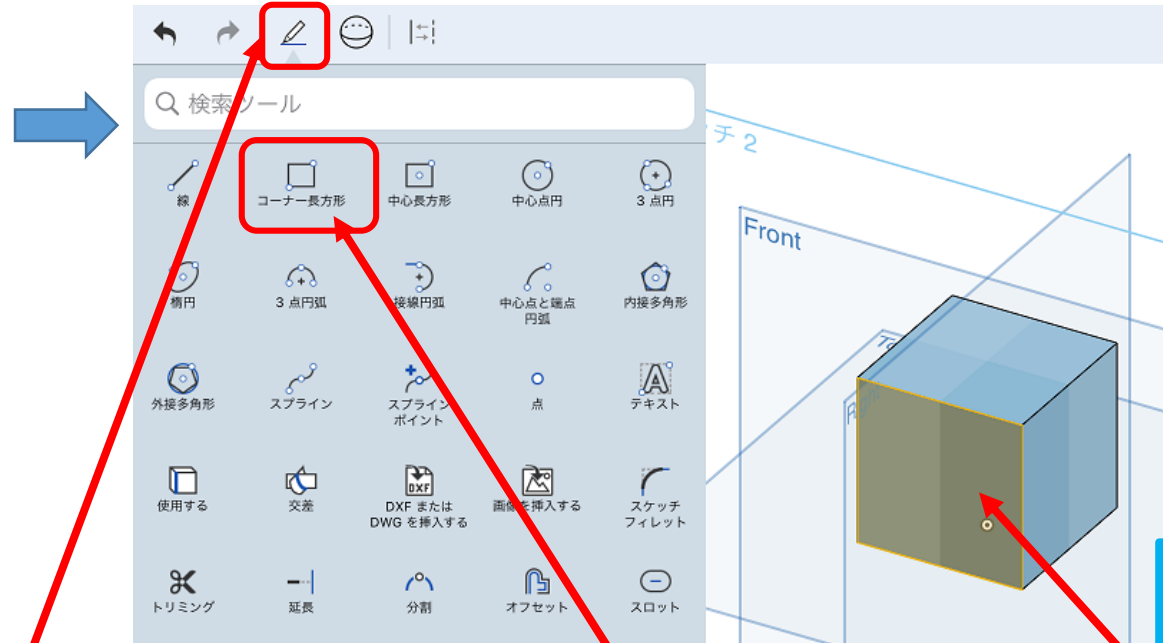
- 押し出しのプロパティが現れるので「奥行き」をタップする

- キーボードが現れるので50と入力し奥行きを50mmにする

ipad用Onshapeでブロックを作ります 9

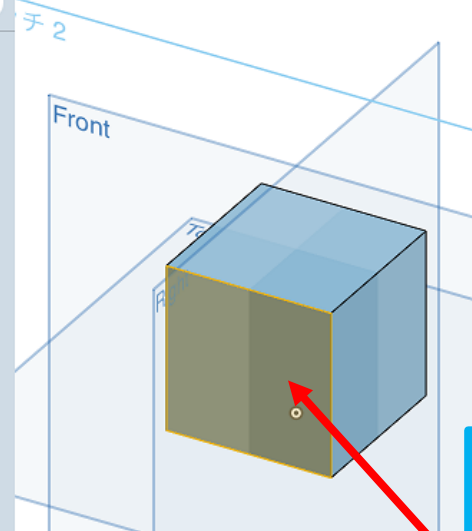


- 奥行(高さ)が60mmになる



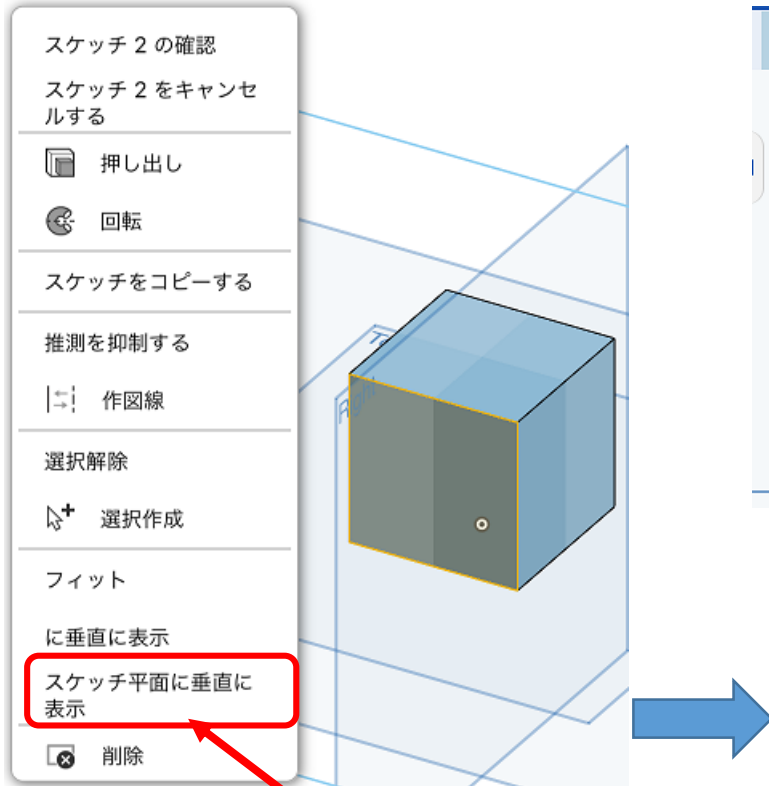
- スケッチツールをタップする

- 「コーナー長方形」を選ぶ

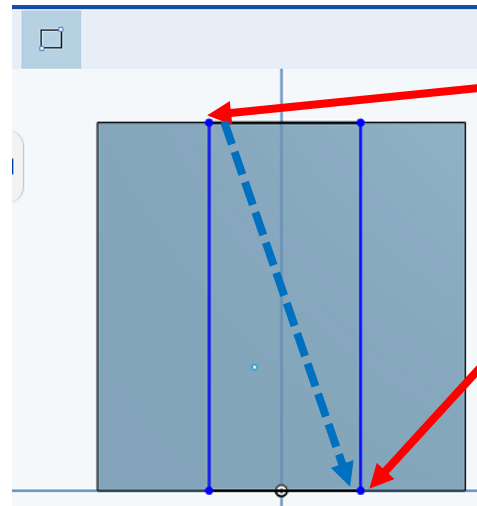


- 押し出したブロックの正面をタップするとオレンジ色になり選択される

ipad用Onshapeでブロックを作ります 10



- ワークスペースを人差し指、中指で同時にタップする
- 現れるリストから「スケッチ平面に垂直に表示」をタップする

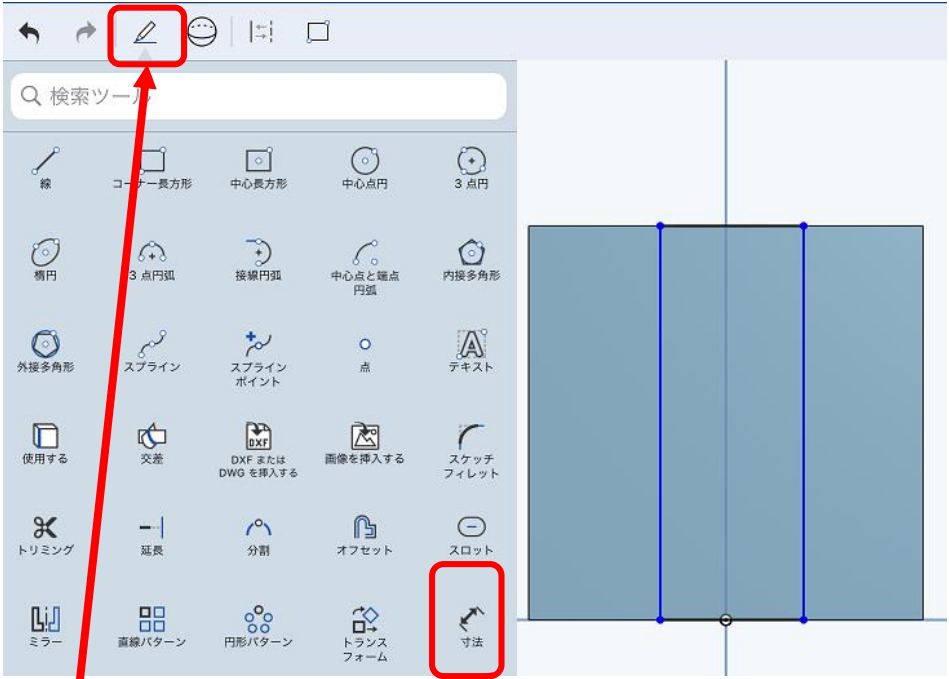


- [+]を上辺に移動すると上辺がオレンジ色になる
- [+]が上辺の直上にあることを示します

- [+]を下辺に移動すると下辺がオレンジ色になる
- [+]が下辺の直上にあることを示します
- 上辺と下辺の[+]を結ぶ線を対角線とする長方形ができる

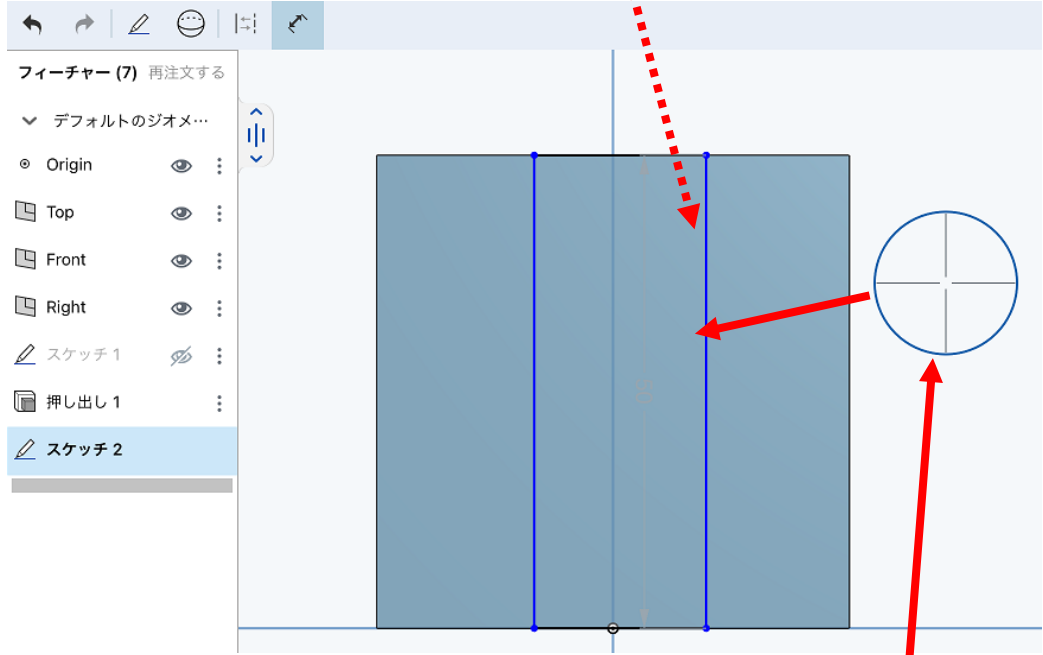
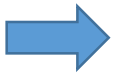
- スケッチ平面が真正面になるので見やすいですね
- コーナー長方形が選ばれた状態でワークスペースをタップすると[+]が現れるので、面の上辺までドラッグすると上辺がオレンジ色になる
- 一度指を画面から離し、もう一度タップすると[+]が現れる
- [+]を底辺までドラッグすると長方形が描かれて底辺がオレンジ色になるので指を画面から離すと上図のように長方形が上辺から下辺まで描かれる

ipad用Onshapeでブロックを作りました 11



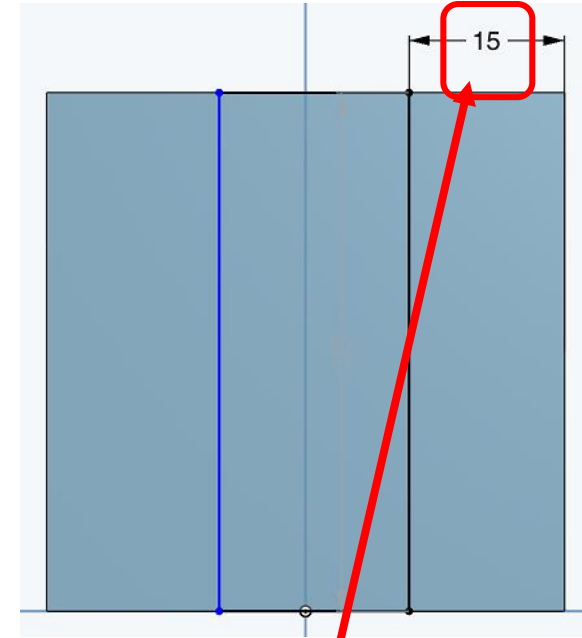
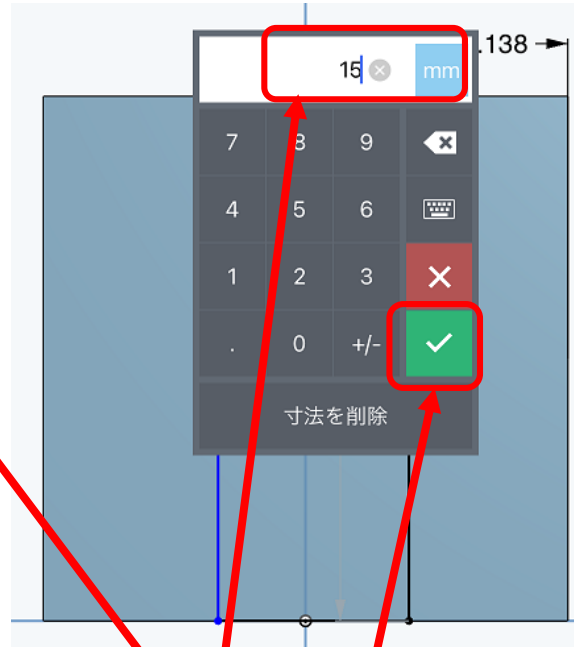
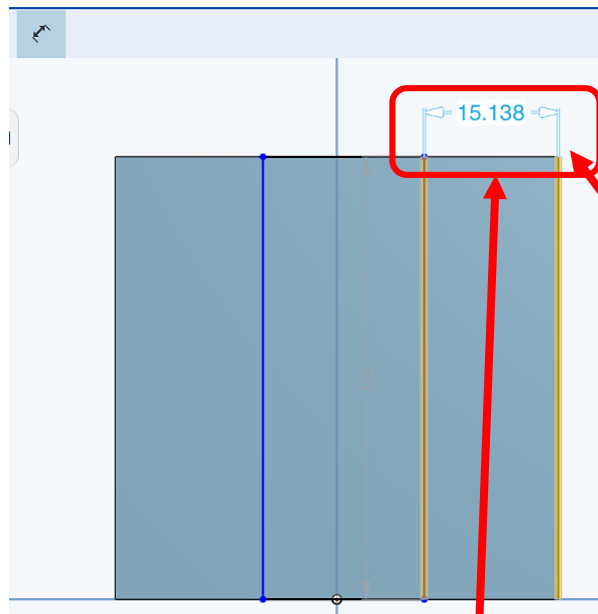
- スケッチツールをタップする
- 現れるスケッチツールリストから「寸法」を選ぶ

この辺の寸法が現れる



- ワークスペースを長押しすると大きな円形の寸法ポインタが現れるので、ドラッグして長方形の縦の辺上に円形ポインタの中心点がのるように移動すると辺の寸法が現れる

ipad用Onshapeでブロックを作りましたよ 12

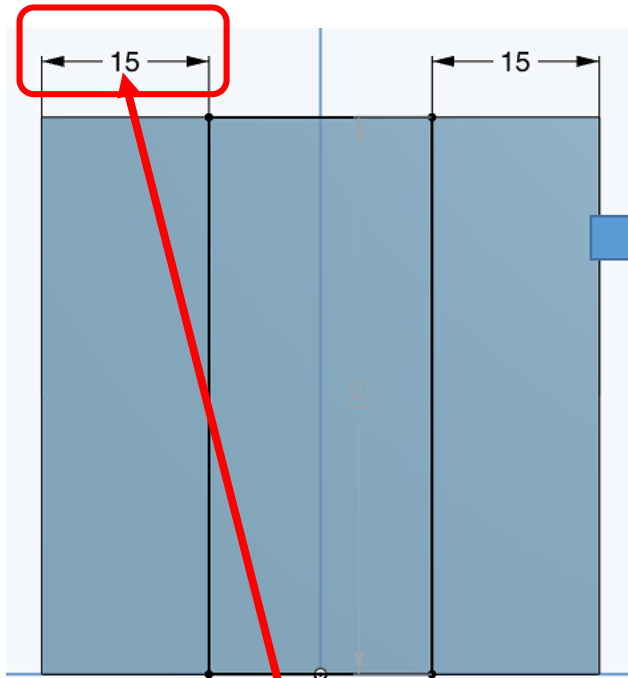


- またワークスペースを辺移動して対向する寸法ポインタを動かすと、2辺の間の距離が現れる

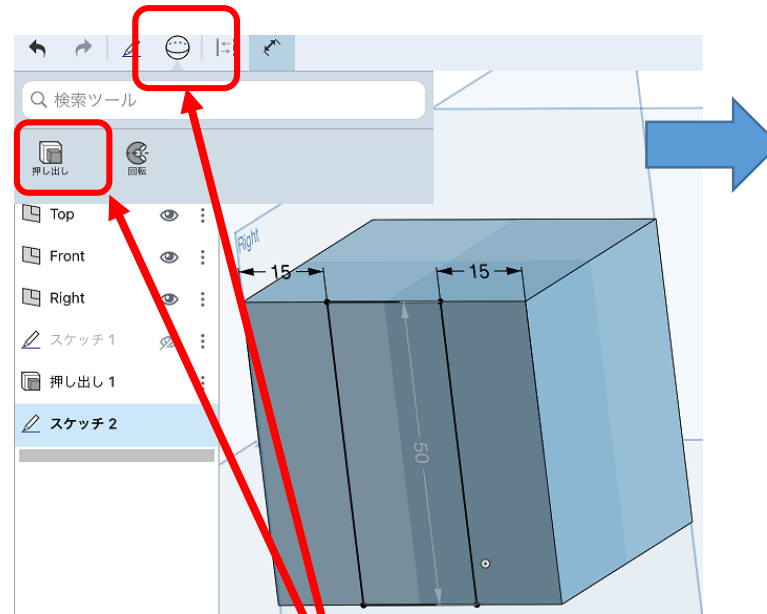
- 寸法をタップすると寸法入力ウィンドウが現れるので15と入力する
- 緑チェックを押して確定する

- 寸法が15mmになる

ipad用Onshapeでブロックを作らしましょう 13



こちらの2線間の寸法も同様に15mmにする

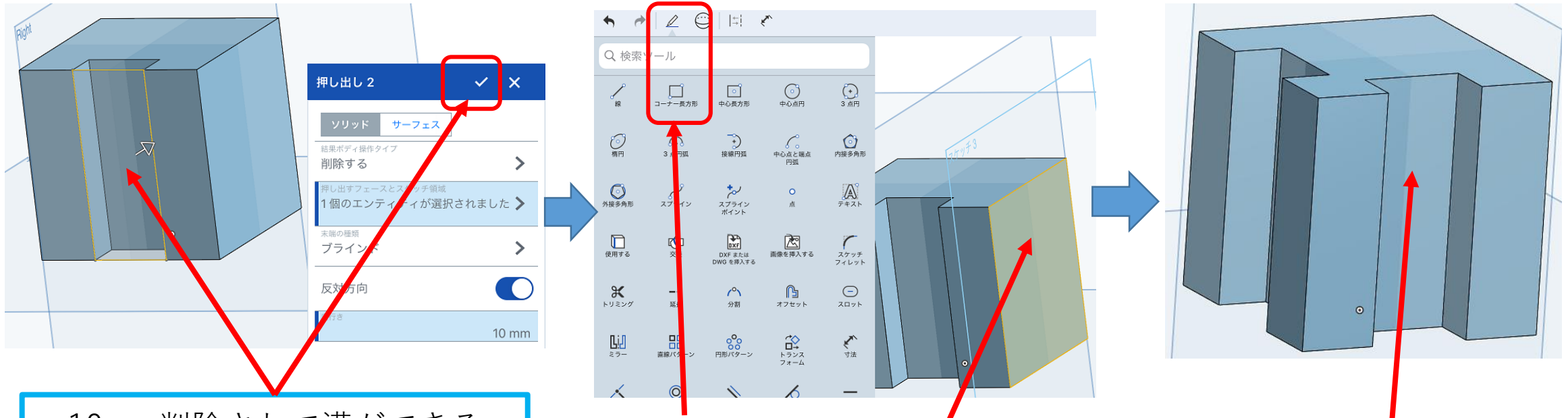


- フィーチャーツールをタップする
- 現れるフィーチャーツールリストから「押し出し」を選ぶ



- 「押し出し」のプロパティは「削除」にする
- 「奥行き」をタップすると寸法変更ウィンドウが現れるので10を入力する
- 緑チェックを押して確定する

ipad用Onshapeでブロックを作りました 14

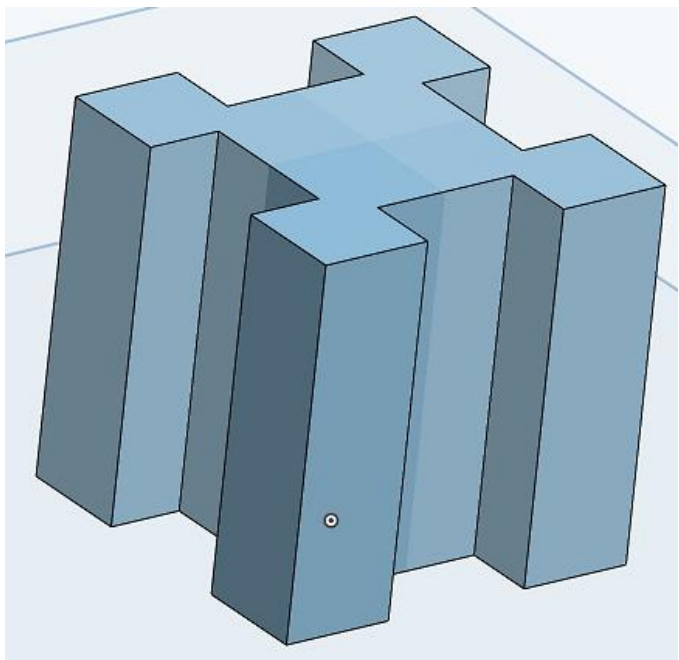


- 10mm削除されて溝ができる
- チェックを押して確定する

- 側面をタップし選択する（オレンジ色になる）
- スケッチツールをタップする
- スケッチツールリストが現れるので「コーナー長方形」を選ぶ

- 先ほどと同じく長方形をスケッチしてから、「押し出し」の「削除」（奥行き10mm）を行い確定する
- この面にも10mmの溝ができました

ipad用Onshapeでブロックを作りました 15



- 残りの2つの側面も同様にして溝をつくります
- 4面すべてに溝ができて完成です